生まれ育った東山区と京都のために……

京都市会議員

平山たかお

TAKAO HIRAYAMA REPORT Vol.5

レポート

第5号

2018.11月

市民と市政のパイプ役

ご挨拶

いつも、平山たかおの活動にご理解を頂き、誠にありがとうございます。

本年の夏は、まさに、酷暑、また、大阪府北部地震、台風21号等の自然災害、また区内においても大規模な火災等もあり、被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げる次第であります。

さて、そういった痛ましい事案も踏まえ、平成30年9月市会において、自由民主党京都市会議員団を代表し、市長はじめ、京都市当局に対し、未来の京都に繋げるための質問を行いましたので、皆様方にご報告すべく、今回もレポートを作成致しました。

どうか、ご高覧を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。

平山たかお オフィシャルサイトができました!!

平山たかお オフィシャル　検索

ブログ更新中!!

URL:http://takao-hirayama.info/

フェイスブックやっています！
お気軽に申請ください
平山たかお
@hirayamatakao

インスタグラムはじめました！
フォローをお願いいたします！
@hirayama.takao.kyoto

〈平山たかお　経歴〉

昭和62年京都市東山区生まれ。立命館大学法学部卒業。
㈱三井住友銀行を経て、京都市会議員選挙に立候補。平成27年4月初当選。
現在、京都市会教育福祉委員会委員、自由民主党京都府連青年部長、政務調査会副会長など。　(詳しくはホームページをご覧ください)

市民困り事相談室を開設しています

お困りごとなど ご相談下さい

みなさまにとって、行政の仕事の役割分担は分かりにくいと思います。

「どこに相談に行けばいいのか？」「こんなこと聞いても良いのだろうか？」とお悩みのときは、私の事務所まで、お気軽にお問い合わせ下さい!!

平山たかおによる代表質問

質問項目

- 無電柱化の更なる推進について
- 増加する観光客に対する情報発信の強化について
- 民泊対策について（許可取得後の簡易宿所等に関して）
- 木造住宅の防火対策について
- 難病対策について
- 京阪鳥羽街道駅のバリアフリー化について

無電柱化の更なる推進について

平山たかお

無電柱化されたイメージ図

私の地元である東山区においても、寺院や神社などの歴史的遺産があり、多くの場所で、いわゆる京都らしい景観に触れることができます。

また、今般の台風21号により、関電の管内だけでも、800本以上の電柱が倒壊し、多くの電線も切れ、停電は延べ200万戸以上に及び住民の皆様の生活に多大な支障を来しました。

景観面はもちろんのこと、防災面でも、無電柱化は喫緊の課題でもあり、無電柱化の推進に向けての課題と、今後の無電柱化の更なる推進に向けた取組についてお答えください。

門川市長答弁

無電柱化には、整備費用の低コスト化や地上機器を設置する場所の確保、既存ライフラインとの共存といった課題があります。

現在、長期的な整備方針の策定に取り組んでおり、年内を目途にとりまとめたいと考えています。

最も大きな課題である整備費用の低コスト化を図りつつ、国の交付金の確保に努め、「世界の文化首都・京都」にふさわしい品格ある街並みの実現に向け、無電柱化を進めます。

増加する観光客に対する情報発信の強化について

平山たかお

外国人観光客へのマナー啓発、市内全域への観光客の誘致、公共交通機関の混雑対策については、必要とされる情報をわかりやすく、ていねいに伝えることが何よりも重要であり、ホームページ上での不特定多数へのお知らせではなく、カスタマイズされた情報を的確に発信することが重要だと考えます。

「住んでよし、訪れてよし。」の持続可能で満足度の高い観光都市を実現するためには、情報技術が日々進化する中で、AIをはじめとする最新技術を活用することも考慮に入れながら、情報発信を強化していく必要があると考えますが、いかがでしょうか。

糟谷観光政策監答弁

近年、AI等の最新技術が進展する中、個々の観光客に応じた情報発信を一層進めるため、今年度、京都大学と連携し、サイト利用者の属性や旅行経験に応じて、興味や関心の高い情報を個別に配信する機能の共同研究に着手するとともに、一人旅や富裕層向けプラン等、観光客のニーズに応じた情報を大幅に充実します。

さらに、観光庁とも連携し、最新技術を活用した観光地の賑わい状況を発信する実証実験に取り組むとともに、災害時については、現在のSNSによる情報発信に加え、デジタルサイネージの活用等、より即時性のある情報発信手法の導入も検討して参ります。

民泊対策について（許可取得後の簡易宿所等に関して）

平山たかお

民泊の適正な運営を確保するための本市の取組の状況や今後の方向性について、具体的にお答え下さい。

門川市長答弁

これまで不適正な運営に係る通報があった場合は、直ちに調査・是正指導等を行い、大半は改善されており、悪質なルール違反がなお是正されないときは、業務改善命令や営業停止命令を行うなど、厳正な対応を行っています。事業者に対しては、地域の不安を解消する具体的な取組への、助言、指導を徹底し、地域住民に対しては、顔の見える関係づくりを進めています。

今後とも違法民泊の根絶に向け、一層取り組んで参ります。

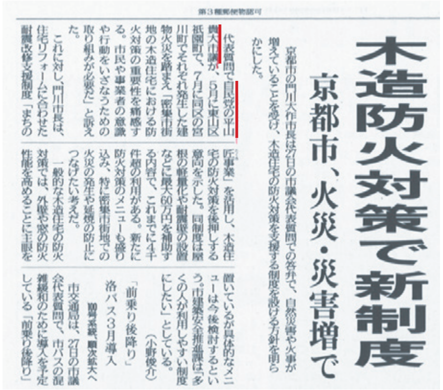
木造住宅の防火対策について

平山たかお

今年５月に祇園町南側、７月に宮川町と、京都を代表する地域で火災が相次ぎ、こうした被害を目の当たりにすると、あらためて密集市街地の木造住宅における防火対策の重要性を痛感します。木造住宅の防火対策に対しても、「まちの匠事業」のように、市民・事業者が自ら防火対策を行おうとする意識や行動を誘うための取組が必要ではないでしょうか。

門川市長答弁

議員御指摘の痛ましい火災を受け、私も火災時に燃え広がらないまちづくりに向けた市民の自主的な取組をこれまで以上に後押ししていく必要があると改めて痛感しております。今後、市民・事業者の方にとって分かりやすく、使いやすい木造住宅の防火対策への支援策の充実を検討して参ります。



第3種郵便物認可

木造防火対策で新制度

京都市、火災・災害増で

京都市の門川大作市長は27日の市議会代表質問での答弁で、自然災害や火事が増えていることを受け、木造住宅の防火対策を支援する制度を設ける方針を明らかにした。

代表質問で自民党の平山貴大市議が、5月に東山区祇園町で、7月に同区の宮川町でそれぞれ発生した建物火災を踏まえ「密集市街地の木造住宅における防火対策の重要性を痛感する。市民や事業者の意識や行動をいざなうための取り組みが必要だ」と訴えた。

これに対し、門川市長は、住宅リフォームに合わせた耐震改修支援制度「まちの匠事業」を活用し、木造住宅の防火対策を後押しする意向を示した。同制度は屋根の軽量化や耐震壁の設置などに最大60万円を補助する内容で、これまでに4千件超の利用がある。新たに防火対策のメニューも盛り込み、特に密集市街地での火災の発生や延焼の防止につなげたい考えだ。

一般的な木造住宅の防火対策では、外壁や窓の防火性能を高めることに主眼を置いているが具体的なメニューは今後検討するという。市建築安全推進課は「多くの人が利用しやすい制度にしたい」としている。（小野俊介）

「前乗り後降り」

洛バス3月導入

100号系統、順次拡大へ

市交通局は、27日の市議会代表質問で、市バスの混雑緩和のために導入を予定している「前乗り後降り」

翌日の京都新聞にも大々的に採り上げていただきました‼

難病対策について

平山たかお

今年度より、政令指定都市では、難病対策の多くの権限が都道府県から移譲され、本市としても医療費助成の認定業務を開始しました。これを契機に「京都府難病相談・支援センター」について、西脇知事と門川市長が府市協調のもと、府市共同設置による「京都難病相談・支援センター」に名称を改め、市と府の職員が協力して、相談支援に取り組まれています。

京都難病相談支援センター

今後、難病患者への支援について、どのような考え方で進められるのか、また、難病患者の皆様が働きやすい環境の整備や雇用の促進、本市採用におけるそれらも踏まえて、取り組んでいただきたいと考えます。あわせてお答えください。

村上副市長答弁

難病相談支援センターと各区役所・支所の保健福祉センターとの連携を一層強め、保健師による訪問相談や、ホームヘルプ、就労支援施設の利用等、支援の充実を図ってまいります。

また、就労支援については、自立支援に加えて、生きがいづくりの観点からも重要であり、ハローワーク等の関係機関との連携を活かし、難病患者に対する合同就労相談会を実施することなどにより、新たな就職場所の確保や、職場で働き続けるための環境が整うよう取組を進めてまいります。

本市における難病の方の採用については、どのような疾病や症状の方を対象とするのか、就労時間等、雇用上必要な配慮に関する課題があり、雇用促進の観点も踏まえつつ、引き続き検討します。

京阪鳥羽街道駅のバリアフリー化について

平山たかお

京阪電車で唯一バリアフリー化がなされていなかった鳥羽街道駅。今年度からバリアフリー化に向けた取組を開始されるとのことであり、まさに地元住民の長年の悲願が叶ったわけであります。

また、駅南側の十条通については、拡幅整備も一足先に完成し、車道が二車線化され、歩道も両側に整備され、自動車交通の円滑化や歩行者の安全性が向上致しました。

一方で、その十条通の東端にあたる本町通交差点では、渋滞が散見されます。そこで、京阪鳥羽街道駅のバリアフリー化について、今後どのように進められるのか、また、本町通の安全な歩行者経路の確保と共に、自動車交通の円滑化についても検討し、対策を講じていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

地元民の悲願！
京阪鳥羽街道駅がついにバリアフリー化へ！！

植村副市長答弁

鳥羽街道駅や周辺道路のバリアフリー化に向け、本年７月に、地域住民や障害者団体の代表者などからなる連絡会議を開催したところです。

今後は、パブリックコメントを実施したうえで、今年度中に具体的な整備計画をまとめ上げ、平成32年度を目標に、大阪方面改札口の新設をはじめとした鳥羽街道駅のバリアフリー化工事を完成させて参ります。

議員御指摘の本町通十条交差点での渋滞対策については、更なる対策について、引き続き関係機関と精力的に協議を進めて参ります。

「京都市被災者住宅再建等支援制度」について

活用できる京都市の支援制度をご紹介します。雨漏り、浸水も支援が受けられます。

対象となる災害

1．大阪府北部地震（6月18日）　**2．西日本豪雨**（7月5日～7日）　**3．台風12号**（7月28日～29日）
4．台風20号（8月23日～24日）　**5．台風21号**（9月4日）　**6．台風24号**（9月30日）

対象となる世帯（次の全ての要件を満たす世帯が対象となります）

1．市内の住宅に自ら居住し、全壊、半壊、一部損壊、床上浸水※等により被害を受けた方
2．市内で住宅を建替、購入、補修、賃借して引き続き居住しようとする方

※一部損壊、床上浸水については、屋根などの損壊による雨漏りや床上浸水により、生活に支障を来たしているものが対象となります。

支援内容

基礎支援金　5万円（定額）※借家の方でも申請できます。
加算支援金　・支援対象となる経費が45万円未満の場合、再建に要した経費を支給。
・支援対象となる経費が45万円以上の場合､再建に要した経費の3分の1。（算出した額が45万円未満の場合は45万円､上限額があります。）

その他

- **地震、大雨等での被害には、市の支援があります。**
- **ブロック塀の点検、除去の支援制度があります。**
- **農業被害や商工業の被害にも支援制度があります。**　……など

お問い合わせ先

東山区役所　または、平山たかお事務所までお問い合わせください。

ご不明な点があれば、
お気軽に
お問い合わせください。

TOPICS

■ 自民党安倍総裁三選！

過日、安倍総理と初めてお会いさせて頂き、懇談をする機会を頂戴致しました。
地方分権が言われて久しい時代となりましたが、当然ながら、国家行政の方針は、京都市行政とも密接に関わり合ってきます。もうすぐ、文化庁が京都へ来ます。安倍総理には、京都の実情を踏まえた政策、そして、地方創生を一層強く進めて頂きたいとお話をさせて頂きました。

■ 京都府知事に西脇隆俊氏が初当選！

４月に行われました京都府知事選挙に新人の西脇隆俊氏が初めて当選をされました。
私、自民党府連政調会の副会長でもあり、西脇氏と自民党京都市会議員団との政策協定締結のために尽力させて頂きました。西脇氏は下京区ご出身で、お父様は、元京都市会議長の西脇尚一氏。また、お母さまのご実家は、東山区の六原学区であったそうです。東山区にとっても素晴らしい知事が誕生されたと感じます。京都市の発展こそ、京都府全体の発展に繋がります。まさに「府市協調」が一層、推進できるように、西脇知事とはお話をさせて頂きました。

3,000名を超す参加者の前で「勝つぞ‼」コール

各種ご連絡先
平山たかお事務所
〒605-0981　京都市東山区本町10丁目153
TEL 075-746-4715
FAX 075-746-4739